

社会福祉法人緑仙会 財務報告

貸借対照表

(単位：円)

令和6年3月31日現在

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	45,864,624	流動負債	39,800,756
固定資産	49,078,301	固定負債	16,092,776
基本財産	30,000,000	負債の部の合計	55,893,532
その他の固定資産	19,078,301	純資産の部	
		基本金	30,000,000
		国庫補助金等特別積立金	940,001
		その他の積立金	200,136
		次期繰越活動増減差額	7,909,256
		純資産の部合計	39,049,393
資産の部合計	94,942,925	負債及び純資産の部合計	94,942,925

資金収支計算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動収入計 ①	241,598,000	218,809,604	22,788,396
事業活動支出計 ②	241,280,000	219,260,668	22,019,332
事業活動資金収支差額 ③(①-②)	318,000	△ 451,064	769,064
施設整備等収入計 ④	0	0	0
施設整備等支出計 ⑤	1,735,000	1,551,616	183,384
施設整備等資金収支差額 ⑥(④-⑤)	△ 1,735,000	△ 1,551,616	△ 183,384
その他の活動収入計 ⑦	2,925,000	3,145,442	△ 220,442
その他の活動支出計 ⑧	1,282,000	1,074,851	207,149
その他の活動資金収支差額 ⑨(⑦-⑧)	1,643,000	2,070,591	△ 427,591
予備費支出 ⑩	100,000	0	100,000
当期資金収支差額合計 ⑪(③+⑥+⑨-⑩)	126,000	67,911	58,089
前期末支払資金残高 ⑫	17,861,073	17,861,073	0
当期末支払資金残高 ⑬(⑫+⑪)	17,987,073	17,928,984	58,089

事業活動計算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計 ①	207,452,801	202,981,416	4,471,385
サービス活動費用計 ②	220,067,679	204,197,065	15,870,614
サービス活動増減差額 ③(①-②)	△ 12,614,878	△ 1,215,649	△ 11,399,229
サービス活動外収益計 ④	11,356,803	2,493,331	8,863,472
サービス活動外費用計 ⑤	0	343,310	△ 343,310
サービス活動外増減差額 ⑥(④-⑤)	11,356,803	2,150,021	9,206,782
経常増減差額 ⑦(③+⑥)	△ 1,258,075	934,372	△ 2,192,447
特別収益計 ⑧	0	1,504,000	△ 1,504,000
特別費用計 ⑨	0	1,504,001	△ 1,504,001
特別増減差額 ⑩(⑧-⑨)	0	△ 1	1
当期活動増減差額 ⑪(⑦+⑩)	△ 1,258,075	934,371	△ 2,192,446
前期繰越活動増減差額 ⑫	8,809,731	7,875,360	934,371
当期末繰越活動増減差額 ⑬(⑪+⑫)	7,551,656	8,809,731	△ 1,258,075
基本金取崩額 ⑭	0	0	0
その他の積立金取崩額 ⑮	357,615	0	357,615
その他の積立金積立額 ⑯	15	0	15
次期繰越活動増減差額 ⑰(⑬+⑭+⑮-⑯)	7,909,256	8,809,731	△ 900,475

事業所のサービス内容や日々の様子をホームページやブログで紹介しています。

ぜひチェックしてみてください！



ホームページ



ブログ

実習生を受け入れています

社会福祉法人緑仙会では、実習生を積極的に受け入れ、福祉人材の育成に努めております。

職員所持資格：**精神保健福祉士 社会福祉士 作業療法士**

受入実習：**精神保健福祉援助実習、教員免許のための介護等体験、看護学生に対する臨地実習（令和5年度実績）**

No17

発行 令和6年8月

会報 緑仙会

2023年緑仙会の活動

編集・発行

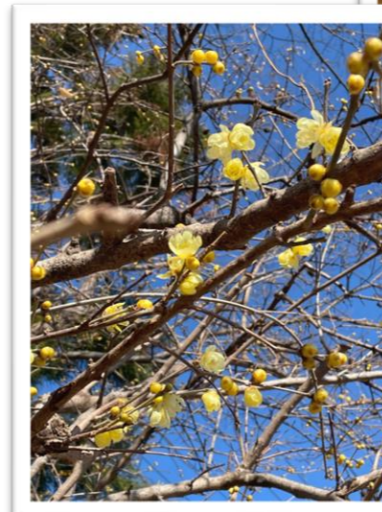
社会福祉法人 緑仙会

宮城県仙台市泉区七北田

字大沢鳥谷ヶ沢8-11

TEL 022-377-3761

FAX 022-377-3762



猛暑を予感させる暑い日々が続いておりますが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々に日常生活に戻る中、ウインディ広瀬川の体験利用や、ショートステイ事業の利用の増加、さらには、ほっとすぺーすの相談件数が増加するなど、緑仙会の事業にも少なからず影響のあった年度となりました。

さて、令和6年度は、「障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり」を柱とした、改正障害者総合支援法が施行されました。

地域共生社会の実現、そのための障害者の皆さんの地域生活に向けた包括的支援など、今後、これらに対応した事業の推進が求められています。さらに、引き続き、障害のある皆さんの地域生活の実現に向けた施策の見直し、充実が図られていくものと存じます。

緑仙会では、職員自らの手で、それぞれが目指すべき成長モデルを策定し、自己研鑽に努めることとしております。この様な取組みも踏まえながら、時代の要請に即した、さらなる支援の充実を図っていくこととしております。

今後とも、皆様の変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人緑仙会 理事長 早坂 明

令和5年度活動報告

～就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所 パルいずみ～

パルいずみでは、就職を希望されている方や自立した生活を目指す方が、目標を達成できるよう、一人ひとりと向き合った支援をしています。

就労移行支援事業では、就労プログラムを通じて、働くために必要な心構え、制度の知識、ビジネスマナー等を身に付ける訓練を行ったほか、職場見学や職場体験実習を実施しました。さらに、就職された方へのアフターフォローを行い、職場に定着できるよう継続した支援に努めました。

就労継続支援B型事業では、工賃向上を目指し、障害者優先調達推進法を活用した下請作業の受注や自主製品作製・販売に力を入れました。昨年度に引き続き、データ入力、企業広告等の封入、箱折作業に加え、事業所外作業として商品発送業務等といった下請作業のほか、自主製品作製では、仙台土産として販売している七夕すとりっぶ、杜の都のケヤキの精ストラップや、ビーズ製品、自然素材のくるみを使ったアクセサリーの作製等に重点的に取り組みました。また、作業効率の向上と健康増進を目的に、朝と帰りのミーティング時と作業の合間にストレッチを取り入れました。

令和6年度は、作業受注の拡大と効率的な作業方法等を利用者の皆さんと一緒に考えながら、引続き工賃向上に取り組んでいきます。



職場実習



クローバーストラップ



七夕すとりっぶ

～自立訓練（生活訓練）・宿泊型自立訓練・短期入所事業所

ウインディ広瀬川では、生活リズムを整える・お金の管理・お薬の管理など、地域で生活を送るために必要な練習を、利用者一人ひとりに合わせて行っています。

毎月プログラムアンケートを行うことで、利用者さんの意見を取り入れながらプログラム内容を工夫しています。毎週日曜日に行っている調理実習では、「おいしく手軽に作れるもの」を中心にメニューを考えています。誕生月の方のリクエストメニューを作ったり、ホットプレートを使って焼肉やお好み焼きも作りました。その他、バス旅行や凧あげなどの季節に合わせた行事やプログラムを行いました。

令和6年度も、利用者さんの希望を取り入れながら様々なことにチャレンジし、ウインディでの訓練やプログラムが地域生活で活かせるよう支援していききたいと思います。

ウインディ広瀬川～



調理実習「オムライス」



バス旅行「感覚ミュージアム」



プログラム「手作り凧あげ」



生活訓練「居室掃除」

～就労継続支援B型事業所 パル三居沢～

パル三居沢では、利用者一人ひとりの社会参加の場として魅力ある事業所を目指し個別支援計画の見直しを丁寧に行うことで、きめ細かい支援を行っています。

昨年度は、事業所内受託作業として一般企業様から新しい箱折り作業や通販会社への出荷準備作業の依頼をいただきました。

また、松ぼっくりを使用した『リース』や『まつデコ』という新しい自主製品を制作しました。お客様からは「可愛い」との声をたくさん頂くことができました。今年度も区役所などで販売いたしますので、是非お手にとってご覧いただければと思います。

パル三居沢の夏の風物詩、除草作業も引き続き頑張っています。

今年度も現在の作業に取り組みつつ、新しい作業にも取り組んで行きたいと思っています。

レクリエーションは毎月皆さんと楽しむことができました。参加希望者も徐々に増え、企画する職員も気合が入ります。しばらくお休みしていた外食や外部講師を招いた企画なども復活し、よりバリエーション豊かなレクリエーションを提供していききたいと思います。

令和6年度も職員・利用者一丸となって「魅力ある事業所づくり」を進めていきます。



リース



除草



レクリエーション



バス旅行

～障害者相談支援事業所 ほっとすぺーす～

ほっとすぺーすでは電話相談や面接相談のほか、ご自宅や病院などにも訪問してお話を伺い、一人ひとりの希望や課題を共に考えながら、生活の維持向上に向けた相談支援を行いました。障害福祉サービスを利用する方にはサービス等利用計画を作成し、関係機関との連携のもと、サービス担当者会議やモニタリングを実施し、必要なサービスの調整や援助を行いました。また、就労系や居住系のサービス事業所の見学を希望される方への同行支援等も実施しました。

昨年度は国見地域周辺で支援に関わっている人・団体が「ゆる～っ」と繋がって地域の暮らしを支えていこう！という目的で関係機関と「くにみゆるっとながろうの会（現：ゆるっく～地域でつながろうの会～）」を開催しました。地域にある事業所の活動内容の紹介やイベント「貝ヶ森だヨ！全員集合～ふらっと寄りみち軽体操～」を実施し、地域の方々や様々な支援者と関わる機会を持つことができました。また数年ぶりに対面での開催となった「サポネットあおばのつどい（青葉区障害者自立支援協議会実務者ネットワーク会議）」等では、地域包括支援センターなど高齢分野の方々に関わる機会が多く、改めて連携の必要を感じました。

令和6年度も連携と協働を大切に、利用者の皆さんが安定した地域生活を継続できるよう、一人ひとりの希望に沿って支援を行っていききたいと思います。



サポネットあおばのつどい



貝ヶ森だヨ！全員集合～ふらっと寄りみち軽体操～